

提 案 概 要

(北九州市立自転車貸出し施設 指定管理者)

団体名： 河内さくら公園愛護会

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
理念 サイクリングセンター利用者の健康促進に寄与する場として運営し、同時に地域社会や観光客とのつながりを深めることで、地域経済の活性化に貢献する。 基本方針 利用者本位のサービス提供 地域の連携と貢献 持続可能な経営 多様なニーズへの対応 安全対策の徹底
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
近隣住民と連携して高齢者を含む人材の確保を行い地元とのつながりを強化する。今までは 6 人で支えていたサイクリングセンターだが、10 人体制で回す予定。ボランティア活動の場としてもすでに年 10 回以上行事が開催されサイクリングセンターの支援体制はできている。広報・集客で認知度を上げ自転車の貸し出しを年々増やし、更にイベントやその他地域に相応しいサービスの提供で自転車以外の多様な収益源の確保を行う。
(3) 実績や経験など
河内の道路サポーターや公園愛護会、地域のボランティア団体とともに、サイクリングセンター周辺のさまざまなイベント開催経験がある。また、既に職員の中にアウトドアインストラクターや定年庭園管理士等、本事業に必要な資格や経験も有しているものが在籍。支援母体となるキャリア教育研究会では、市内小中学校での活動は 11 年となり現在では年間 150 校の学校で開催している。夢河内 21 は地域の活動を 30 年以上行っている。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
利用者の健康促進と観光振興を目的に、安全で快適な施設運営を行い、季節の定期イベントを導入し利用者を増やす。また、他の観光施設や地元コミュニティと連携し、地域全体での施設活用を推進する。近隣の小中学校には直接、広くは SNS や Web サイトでの広報活動を強化し、外国人も含めた観光客向けのプロモーションも行う。
(2) 利用者の満足度
利用者には河内貯水池の環境マップや季節の植物の観察マップを提供し、自転車でチェックポイントをめぐるオリエンテーリングや、歴史や自然についての学習体験プログラムも実施。自転車のオンライン予約できる仕組みをつくる。休館日、休館時期も無人貸し出しができる仕組みをつくる。

【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理料及び収入
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約システム等の導入により、人件費の削減及び利用者の利便性を高める仕組み作り。 ・イベントの定期開催等により利用者数を増加させ、市の利用料収入の増加に努める。
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性
繁忙期閑散期のデータに基づき人員配置を行い、更に人件費を削減する。イベントや SNS を活用した情報発信・WEB サイトの整備等により利用者増を確保する。

【適正性】に関する取組み
(1) 管理運営体制など
施設管理には必ず責任者とその補助を配置し、責任者は指定管理業務仕様書の内容を熟知している者に限る。責任者不在時は、総括責任者と連絡が取れる体制を整える。事前予約システムにより利用者数を把握し、繁忙期には補助スタッフを増員して対応する。現職員の中で継続雇用を希望し、新体制に適応できるスタッフを雇用することで、円滑な運営を図る。
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護方針を明確にし、職員に周知徹底する。収集・利用・管理方法を具体的に示し、プライバシー保護を徹底する。また、データへのアクセスは権限を持つ職員に限定する。防犯・防災対策として、防犯カメラや防犯灯の設置、避難経路や避難場所の表示、消火器の設置を行う。
(3) 地域貢献・社会貢献
地域住民と協力し、河内貯水池の魅力や歴史を発信する企画を提供。四季折々のイベントや体験プログラムで観光客の誘致を図り、収益を地域の環境整備に活用。さらに、地元の商店や飲食店と提携してサイクリスト向け観光ルートを設定し、地元製品の紹介や試食イベントを通じて地域経済の活性化に寄与する。また、地域住民が参加できるイベントやワークショップを定期的で開催し、地域の絆を深める。自治体や地域ボランティア団体と協力して、地域コミュニティの活性化にも努める。さらに、市内の小中学校と連携し、サイクリングや環境教育を通じた体験学習プログラムを提供し、次世代の環境意識や健康意識の向上を図る工夫をする。

提案額（千円）

令和7年度	2,900千円
令和8年度	2,800千円
令和9年度	2,700千円
令和10年度	2,600千円
令和11年度	2,500千円